

令和8年度第1回札幌市営企業調査審議会総会

日時 令和8年9月9日(水) 午後2時から
会場 WEST19 5階講堂

会議次第

- 1 副市長あいさつ
- 2 委員及び理事者紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 今後の運営方法の審議
- 5 事業説明（令和8年度予算の概要）
- 6 質疑

資 料

札幌市営企業調査審議会委員名簿	資料1
札幌市営企業調査審議会条例 （事業説明資料）	資料2
令和8年度交通事業 予算の概要	資料3
令和8年度水道事業 予算の概要	資料4
令和8年度下水道事業 予算の概要	資料5
令和8年度病院事業 予算の概要	資料6

札幌市営企業調査審議会委員

(五十音順、敬称略)

朝野 由紀	札幌市P T A協議会副会長
阿部 勝義	一般社団法人北海道ビルディング協会常務理事
石嶋 芳臣	北海学園大学経営学部教授
石田 眞二	北海道科学大学工学部教授（副学長）
祖母井 里重子	弁護士（札幌弁護士会所属）
大金 弘武	札幌商工会議所政策委員会副委員長
大橋 俊忠	北海道経済連合会理事事務局長
岡田 美弥子	北海道大学大学院経済学研究院教授
押木 守	北海道大学大学院工学研究院准教授
加藤 純広	株式会社北海道医療新聞社編集局企画部部長
木村 敏康	北海道中小企業団体中央会専務理事
駒ヶ嶺 智史	公募委員
沢田 崇	公募委員
白崎 伸隆	北海道大学大学院工学研究院准教授
高橋 雅之	公募委員
竹田 和則	公募委員
立花 八寿子	公益社団法人北海道看護協会常務理事
峪 龍一	北海道大学大学院工学研究院准教授
常谷 智晴	公募委員
寺林 江津	公募委員
西尾 長孝	一般社団法人札幌青年会議所専務理事
野中 雅	一般社団法人札幌市医師会副会長
林 真樹	北海道新聞社企画室次長
星原 智江	公益社団法人札幌消費者協会理事
松村 史穂	北海道大学大学院経済学研究院教授
山口 裕一	連合北海道札幌地区連合会事務局長
山田 陽	医療法人溪仁会 札幌西円山病院 院長
山田 俊郎	北海学園大学工学部教授

以上28名

札幌市営企業調査審議会条例

昭和40年12月15日

条例第32号

(設置)

第1条 本市の公営企業（以下「公営企業」という。）に関する諸施策の運営に資するため、札幌市営企業調査審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、公営企業に関し、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項につき調査審議する。

- (1) 運営管理の方針に関すること
- (2) 財政に関すること
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること

2 審議会は、前項各号に掲げる事項に関し、自ら調査審議して市長に意見を申し出ることができる。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(部会)

第6条 審議会に、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会所属の委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

(会議)

第7条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、総務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

令和8年度（2026年度） 札幌市交通事業 予算の概要

軌道整備事業会計

1 予算総括表	1	頁
2 (参考)業務量	2	頁
3 財政状況の推移	3	頁

高速電車事業会計

1 予算総括表	4	頁
2 業務量	5	頁
3 財政状況の推移	6	頁

令和8年度予算の主要事業	7, 8	頁
--------------------	------	---

札幌市交通局

1 予算総括表（税込）（軌道整備事業会計）

路面電車

（単位：千円）

区分	収入				支出				収支差引				
	項目	8年度予算(A)	7年度予算(B)	差引増減 (A)-(B)	項目	8年度予算(C)	7年度予算(D)	差引増減 (C)-(D)	8年度予算 (A)-(C)=(E)	7年度予算 (B)-(D)=(F)	差引増減 (E)-(F)		
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	経常収支	営業収益	1,021,000	992,000	29,000	営業費用	1,694,000	1,749,000	▲ 55,000	▲ 673,000	▲ 757,000	84,000
			施設使用料収入	1,018,000	989,000	29,000	人件費	84,000	100,000	▲ 16,000			
			土地物件賃貸料等	3,000	3,000	0	経費	744,000	727,000	17,000			
						減価償却費	866,000	922,000	▲ 56,000				
		営業外収益	830,000	768,000	62,000	営業外費用	52,000	64,000	▲ 12,000	778,000	704,000	74,000	
		長期前受金戻入	667,000	669,000	▲ 2,000								
		その他	163,000	99,000	64,000								
						予備費	5,000	5,000	0	▲ 5,000	▲ 5,000	0	
		小計	1,851,000	1,760,000	91,000	小計	1,751,000	1,818,000	▲ 67,000	100,000	▲ 58,000	158,000	
	特別利益	0	12,000	▲ 12,000	特別損失	0	0	0	0	12,000	▲ 12,000		
計	① 1,851,000	1,772,000	79,000	計	② 1,751,000	1,818,000	▲ 67,000	③ 100,000	▲ 46,000	146,000			
資本的収入及び支出	企業債	848,000	484,000	364,000	建設改良費	1,876,000	2,006,920	▲ 130,920	収支差引(税抜)=当年度純利益				
	負担金	1,017,000	1,502,355	▲ 485,355	企業債償還金	299,000	290,000	9,000				④ 23,000	▲ 75,000
					他会計借入金償還金	42,000	73,000	▲ 31,000					
					予備費	10,000	10,000	0					
	計	⑤ 1,865,000	1,986,355	▲ 121,355	計	⑥ 2,227,000	2,379,920	▲ 152,920	⑦ ▲ 362,000	▲ 393,565	31,565		
	当年度分損益勘定留保資金等	262,000	381,000	▲ 119,000					262,000	381,000	▲ 119,000		
	合計	3,978,000	4,139,355	▲ 161,355	合計	3,978,000	4,197,920	▲ 219,920	0	▲ 58,565	58,565		
前年度末内部留保資金		424,761	483,326	▲ 58,565					424,761	483,326	▲ 58,565		
総計		4,402,761	4,622,681	▲ 219,920	総計	3,978,000	4,197,920	▲ 219,920	⑧ 424,761	424,761	0		

（単位：千円）

長期借入金残高	⑨ 424,000	466,000	▲ 42,000
---------	-----------	---------	----------

※ 7年度予算は現計予算（6決算置換・繰越を含む）である。

※ 8年度予算の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費866,000千円と固定資産除却費61,000千円、長期前受金戻入▲667,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額2,000千円を加えたものである。

2 (参考) 業務量

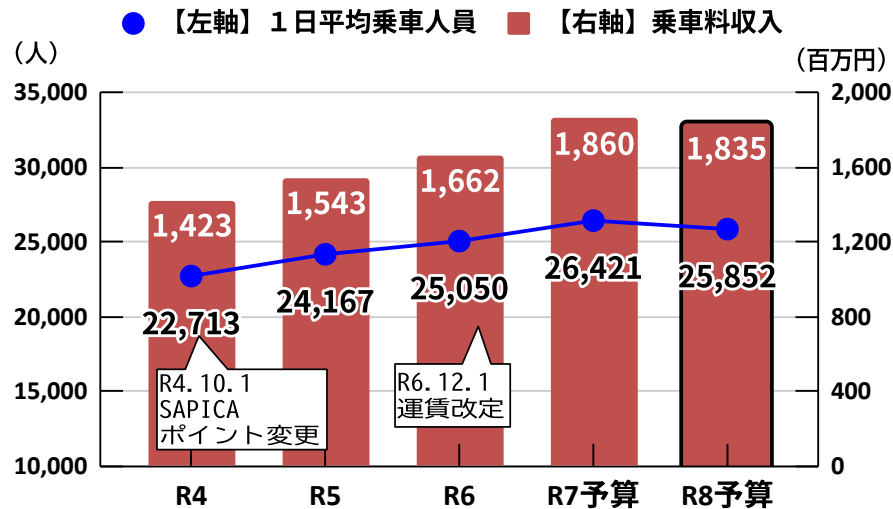
路面電車

区分		8年度予算 (A)	7年度予算 (B)	差引増減▲	
				増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)/(B)
車両数		両 36	両 36	両 0	% 0.0
走行キロ		千Km 841	千Km 900	千Km ▲ 59	% ▲ 6.6
輸 送 人 員	年間	千人 9,436	千人 9,644	千人 ▲ 208	% ▲ 2.2
	一日平均	人 25,852	人 26,421	人 ▲ 569	% ▲ 2.2
乗車料収入		百万円 1,835	百万円 1,860	百万円 ▲ 25	% ▲ 1.3

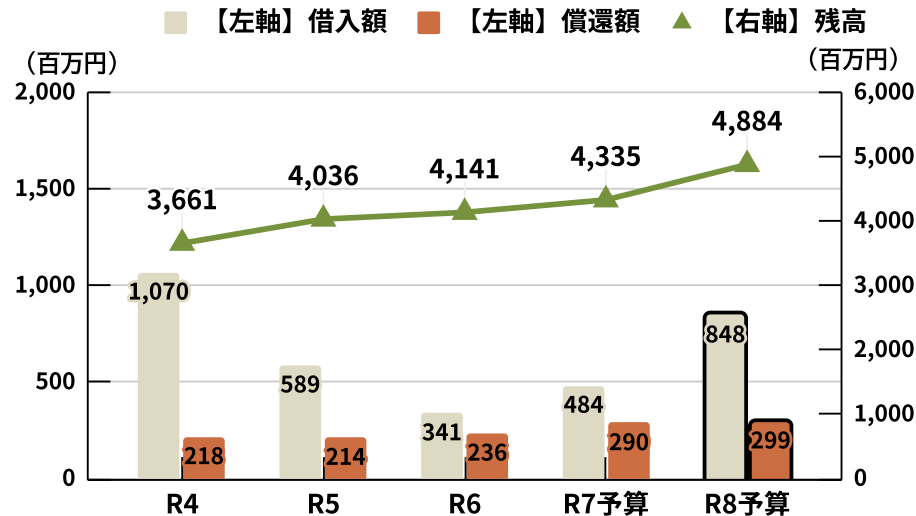
3 財政状況の推移（軌道整備事業会計）

路面電車

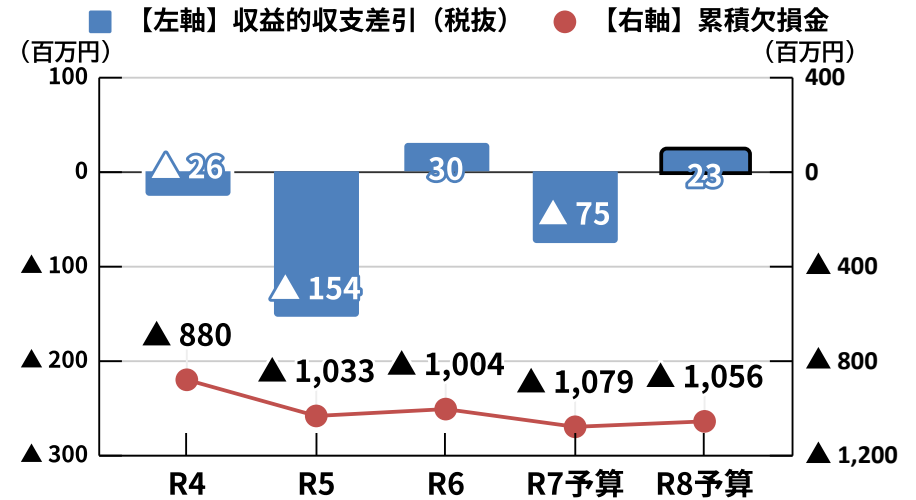
■ 1日平均乗車人員・年間乗車料収入



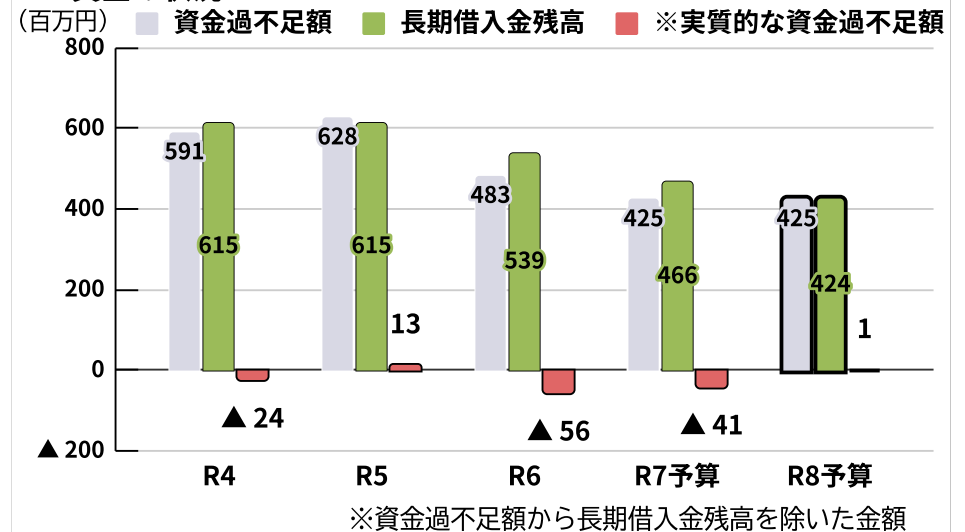
■ 企業債（借入額・償還額・残高）



■ 収益的収支・累積欠損金



■ 資金の状況



1 予算総括表（高速電車事業会計）

地下鉄

（単位：千円）

区分		収入				支出				収支差引		
		項目	8年度予算 (B)	7年度予算 (A)	差引増減 (B)-(A)	項目	8年度予算 (D)	7年度予算 (C)	差引増減 (D)-(C)	8年度予算 (B)-(D)=(E)	7年度予算 (A)-(C)=(F)	差引増減 (E)-(F)
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	営業収益	49,101,000	46,504,000	2,597,000	営業費用	43,302,000	40,445,745	2,856,255	5,799,000	6,058,255	▲259,255
		乗車料収入	46,120,000	43,605,000	2,515,000	人件費	5,541,000	4,848,000	693,000			
		広告料収入	1,236,000	1,168,000	68,000	経費	22,735,000	20,573,745	2,161,255			
		その他	1,745,000	1,731,000	14,000	減価償却費	15,026,000	15,024,000	2,000			
		営業外収益	5,021,000	5,412,469	▲391,469	営業外費用	3,408,000	3,432,469	▲24,469	1,613,000	1,980,000	▲367,000
		長期前受金戻入	3,573,000	3,566,000	7,000							
		その他	1,448,000	1,846,469	▲398,469							
						予備費	40,000	40,000	0	▲40,000	▲40,000	0
		小計	54,122,000	51,916,469	2,205,531	小計	46,750,000	43,918,214	2,831,786	7,372,000	7,998,255	▲626,255
		特別利益	0	0	0	特別損失	8,000	8,000	0	▲8,000	▲8,000	0
		計	① 54,122,000	51,916,469	2,205,531	計	② 46,758,000	43,926,214	2,831,786	③ 7,364,000	7,990,255	▲626,255
	資本的収入及び支出	企業債	20,311,000	21,035,000	▲724,000	建設改良費	28,488,000	30,763,084	▲2,275,084	収支差引(税抜)＝当年度純利益 ↓		
		出資金	3,773,000	3,853,000	▲80,000	企業債償還金	18,049,000	20,573,000	▲2,524,000			
		国庫補助金	1,928,787	2,670,012	▲741,225	予備費	20,000	20,000	0			
		他会計補助金	2,350,213	2,984,780	▲634,567							
		計	⑤ 28,363,000	30,542,792	▲2,179,792	計	⑥ 46,557,000	51,356,084	▲4,799,084	⑦▲18,194,000	▲20,813,292	2,619,292
	当年度分 損益勘定留保資金等		11,880,000	11,863,000	17,000					11,880,000	11,863,000	17,000
	合計		94,365,000	94,322,261	42,739	合計	93,315,000	95,282,298	▲1,967,298	⑧ 1,050,000	▲960,037	2,010,037
	前年度末内部留保資金		5,939,810	6,899,846	▲960,036					5,939,810	6,899,846	▲960,036
総計		100,304,810	101,222,107	▲917,297	総計	93,315,000	95,282,298	▲1,967,298	⑨ 6,989,810	5,939,810	1,050,000	

※ 7年度予算(A)は現計予算（決算置換・繰越を含む）である。

※ 8年度予算(B)の当年度損益勘定留保資金等は、減価償却費15,026,000千円、固定資産除却費338,000千円、長期前受金戻入▲3,573,000千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額89,000千円を加えたものである。

※ 8年度予算(B)の地方財政法上の資金不足額は、総計6,989,810千円から特別減収対策企業債残高(固定負債分)17,849,000千円を差し引いた額10,859,190千円である。

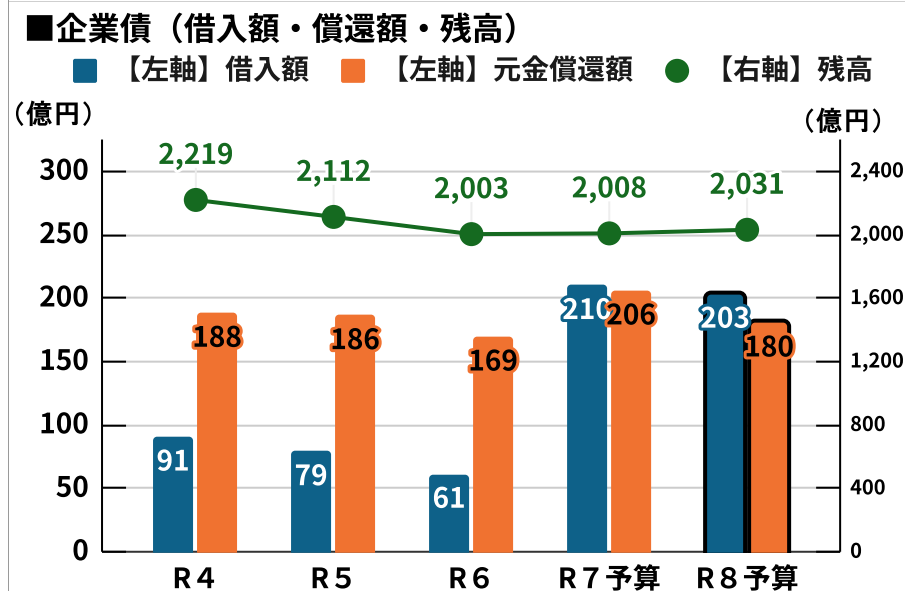
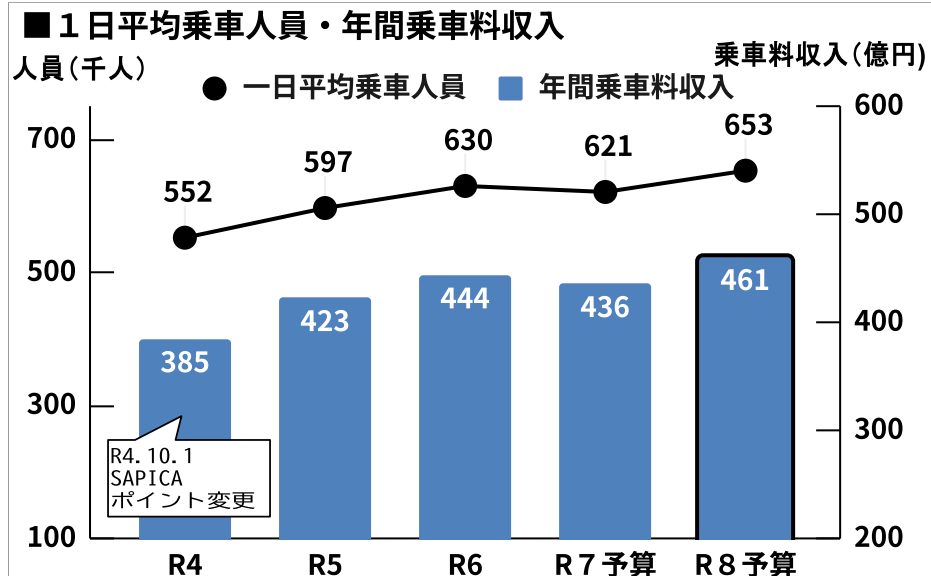
2 業務量

(高速電車事業会計)

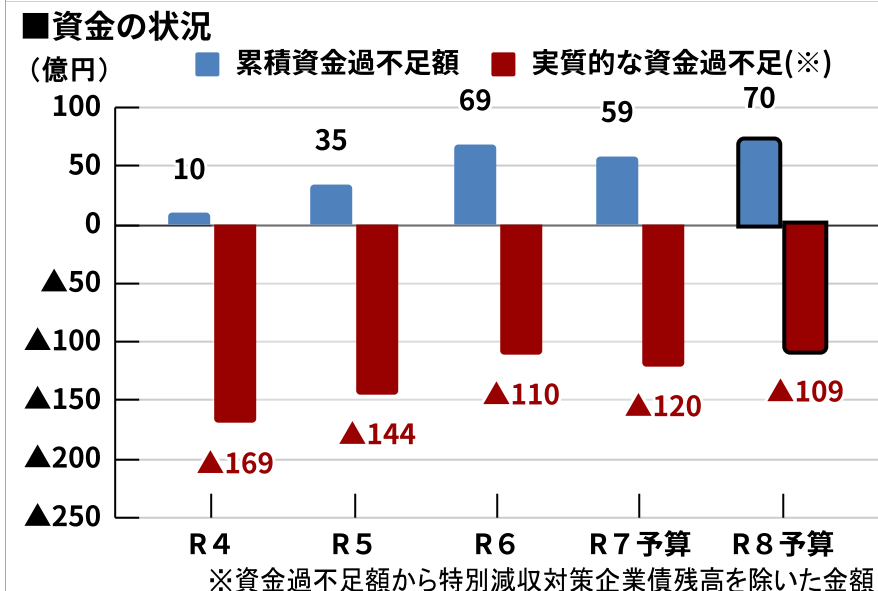
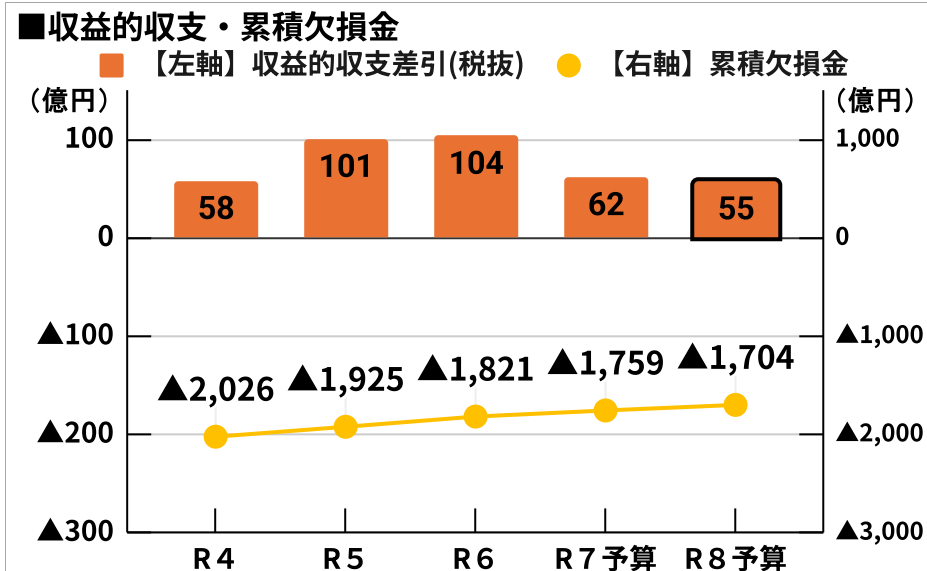
地下鉄

区分		8年度予算 (A)	7年度予算 (B)	差引増減▲	
				増 減 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)/(B)
在籍車両数		両 368	両 368	両 0	% 0.0
走行キロ数		千Km 33,745	千Km 33,741	千Km 4	% +0.0
輸 送 人 員	年間	千人 238,501	千人 226,573	千人 + 11,928	% + 5.2
	一日平均	千人 653	千人 621	千人 + 32	% + 5.2
乗車料収入		百万円 46,120	百万円 43,605	百万円 + 2,515	% + 5.8

3 財政状況の推移（高速電車事業会計）



地下鉄



令和8年度予算 主要事業 (1/2)

路面電車・地下鉄共通



老朽化対策

南車両基地改築ほか工事(耐震改修等)

R8: **6,663百万円**
期間: ~R15
総事業費: 396億円

開業から50年以上が経過。R8年度は、既存車庫棟等の一部解体及び工場棟等の新築を行う。



本局庁舎ほか大規模改修工事

R8: **1,044百万円**
期間: ~R10
総事業費: 98億円

ZEB認証の取得を含めて改修を行う。
仮庁舎への移転期間(予定): R8年7月頃~R10年8月頃



駅リフレッシュ改修工事(北18条駅)

R8: **40百万円**
期間: ~R10
総事業費: 13億円

【改修計画】
R7~8年度: 設計
R9~10年度: 工事
※R9~R10年度に北12条駅
の設計予定



バリアフリー化

段差隙間縮小に向けた駅ホーム改良工事

R8: **410百万円**
期間: ~R8
総事業費: 8.0億円

【改良計画】 R6年度: 4駅
R7年度: 24駅
R8年度: 21駅
(全駅完成予定)



エレベーター新設工事(大谷地駅)

R8: **217百万円**
期間: ~R8
総事業費: 5.5億円

地下鉄とバスターミナル間に、新たなバリアフリー経路を整備するため、エレベーターを増設。



新型低床車両の導入(路面電車)

R8: **368百万円**

【低床車両数】
R8年度末: 16両/36両

バリアフリー対応の低床車両(ポラリスII、定員75名)を1両導入。※シリウスより定員15増



安全対策

地下鉄車内防犯カメラ設置

R8: **203百万円**
期間: R6~R9
総事業費: 5.5億円
東豊線はR8年度、南北・東西線はR9年度に設置が完了。



光警報装置新設工事

R8: **192百万円**
期間: ~R9
総事業費: 2.0億円
主に聴覚障がい者や高齢者に対して火災を光で伝える装置を全駅トイレに設置。



増収対策

デジタルサイネージ広告事業

R8: **72百万円**

大通駅に大型のLEDディスプレイを新設。
広告の募集はR9年度から開始。



副駅名看板広告(収入予算)

R8: **20百万円** (収入)

既存の13駅に加え、新たに8駅(幌平橋、宮の沢、新さっぽろ、福住ほか)を募集。



令和8年度予算 主要事業 (2/2)

路面電車・地下鉄共通

サービスアップ

暑さ対策

R8：98百万円

・地下鉄車両空調装置の搭載検討業務

R8：61百万円
冷房装置搭載の実現可能性について調査を行う。

・スポットクーラー設置

R8：13百万円
南北線の各駅ホームにスポットクーラーを設置する。全60台。

・暑さ対策検討業務

R8：5百万円
南北線高架駅について、現状の調査及び暑さ軽減の手法を検討する業務を行う。



新規

大通定期券発売所の移設整備

R8：264百万円

利用開始：R9予定
総事業費：2.7億円

利用者の待合スペースを確保した定期券発売所を整備。



新規

クレジットカード専用定期券発行機導入

R8：債務負担設定のみ
利用開始：R11予定
総事業費：7.0億円

現在、定期券発売所のみクレジットカード決済に対応しているため、全駅にクレジットカード決済専用の発行機を1台ずつ設置。



新規

新技術への対応

南北線シェルタードローン詳細点検

R8：8百万円

ドローンにより高所部の詳細の点検を行うもの。
通常よりも短期間で点検を終えることができる。



新規

次世代乗車システム

・次世代乗車システム検討業務

R8：25百万円

将来の磁気券廃止を見据えて、QRコード乗車券の導入に向けた検証を行う。



レベ

・クレカ乗車の普及・促進【地下鉄】

R8：32百万円

クレカ乗車の上限運賃制を導入し、対応通路を増設。



【路面電車】

路面電車全車両でクレカ乗車をスタート。



人材確保

地下鉄駅業務等委託料

R8：4,676百万円

人手不足の中で処遇改善を図るため、従事者給与水準を見直し。

地下鉄乗務員のキャリアパスの多様化を図り、旅客対応水準の向上のため、R9年度から委託範囲の見直しを実施。R8年度は実施体制を検討。



レベ

駅業務省力化関連事業

R8：288百万円

駅業務の省力化のため、新たな技術を導入するもの。

R8は、一部駅で「シャッター自動開閉システム」、「ICカードリモート処理機」、「POSレジ」を先行的に導入し、R9から運用を開始。



新規



「POSレジ」
現金の取扱いの効率化

令和 8 年度水道事業会計予算の概要

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2 頁
3	財 政 状 況 の 推 移	3 頁
4	主 要 事 業	4 頁

1 予算総括表

(消費税込、単位 千円)

区 分			収入				支出				収支差引		
			項目	R8年度予算 A	R7年度予算 B	差引増減 A-B	項目	R8年度予算 C	R7年度予算 D	差引増減 C-D	R8年度予算 A-C=E	R7年度予算 B-D=F	差引増減 E-F
当年度	収益的収入及び支出	經常収支	営業収益	45,503,000	44,886,000	617,000	営業費用	39,474,000	39,590,000	△ 116,000			
			うち給水収益	41,677,244	38,510,608	3,166,636	うち運営管理費	21,348,859	22,367,199	△ 1,018,340			
			営業外収益	2,785,000	3,252,000	△ 467,000	営業外費用	951,000	793,000	158,000			
							予備費	20,000	20,000	0			
			小 計	48,288,000	48,138,000	150,000	小 計	40,445,000	40,403,000	42,000	7,843,000	7,735,000	108,000
			特別利益	54,000	25,000	29,000	特別損失	112,000	168,000	△ 56,000	△ 58,000	△ 143,000	85,000
			計	① 48,342,000	48,163,000	179,000	計	② 40,557,000	40,571,000	△ 14,000	③ 7,785,000	7,592,000	193,000
	資本的収入及び支出		企業債	10,000,000	12,000,000	△ 2,000,000	建設改良費	26,497,486	29,105,180	△ 2,607,694	↓ 収支差引（税抜）＝当年度純利益 ↓ 5,334,392 ↓ 予定処分後純利益 3,824,392	↓ 4,933,858 ↓ 3,502,858	400,534 321,534
			出資金	0	0	0	企業債償還金	5,734,514	5,641,820	92,694			
			固定資産売却代金	0	0	0	出資金	0	0	0			
			補助金	823,270	1,015,149	△ 191,879	予備費	20,000	20,000	0			
			加入金	688,232	749,936	△ 61,704							
			負担金	351,498	258,915	92,583							
			水道施設更新 積立運用金戻入	0	2,000,000	△ 2,000,000							
			計	④ 11,863,000	16,024,000	△ 4,161,000	計	⑤ 32,252,000	34,767,000	△ 2,515,000	⑥ △20,389,000	△18,743,000	△ 1,646,000
			当年度分損益勘定留保資金等	11,695,541	10,959,960	735,581					11,695,541	10,959,960	735,581
			合計	71,900,541	75,146,960	△ 3,246,419	合計	72,809,000	75,338,000	△ 2,529,000	△ 908,459	△ 191,040	△ 717,419
	過年度分内部留保資金			8,044,741	11,891,434	△ 3,846,693				8,044,741	11,891,434	△ 3,846,693	
	総計			79,945,282	87,038,394	△ 7,093,112	総計	72,809,000	75,338,000	△ 2,529,000	⑦ 7,136,282	9,085,394	△ 1,949,112
		水道施設更新積立金	－	－	－	水道施設更新積立金	－	－	－	0	3,000,000	△ 3,000,000	
		上記以外の額	－	－	－	上記以外の額	－	－	－	7,136,282	6,085,394	1,050,888	

注 1 令和 7 年度予算は当初予算であるが、過年度分内部留保資金等は令和 6 年度決算置換後の額である。

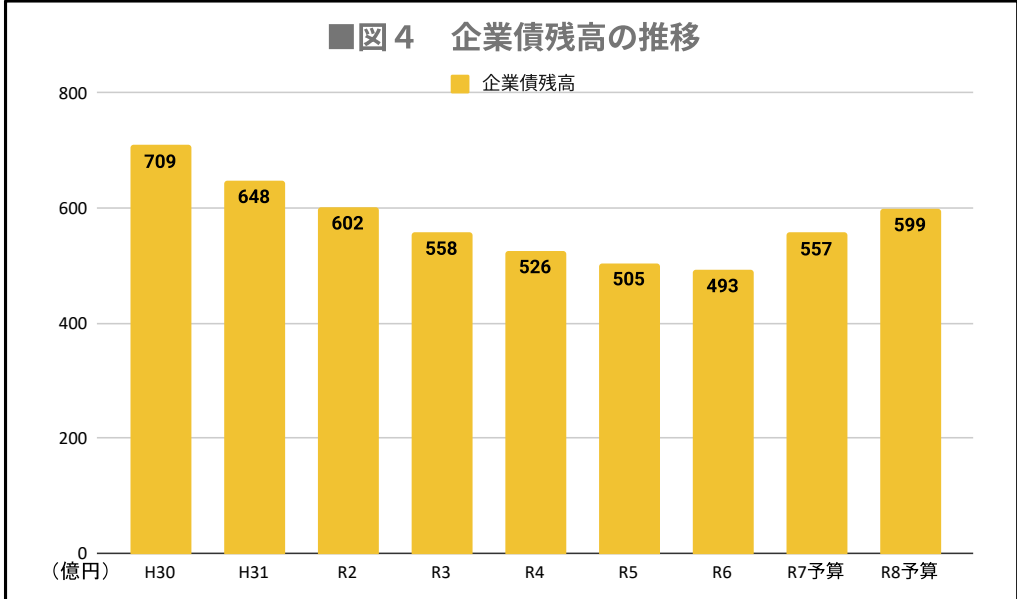
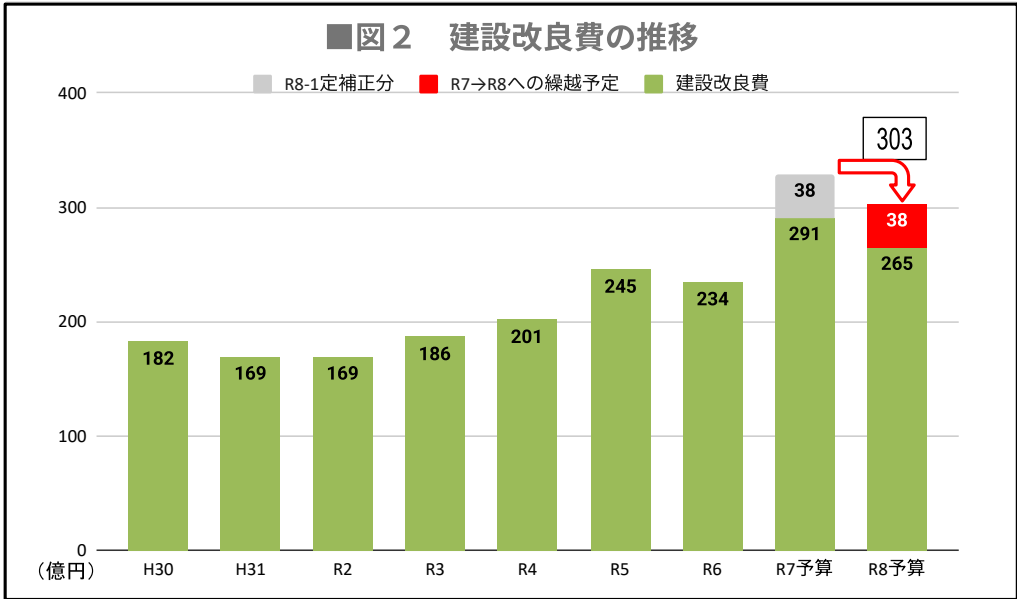
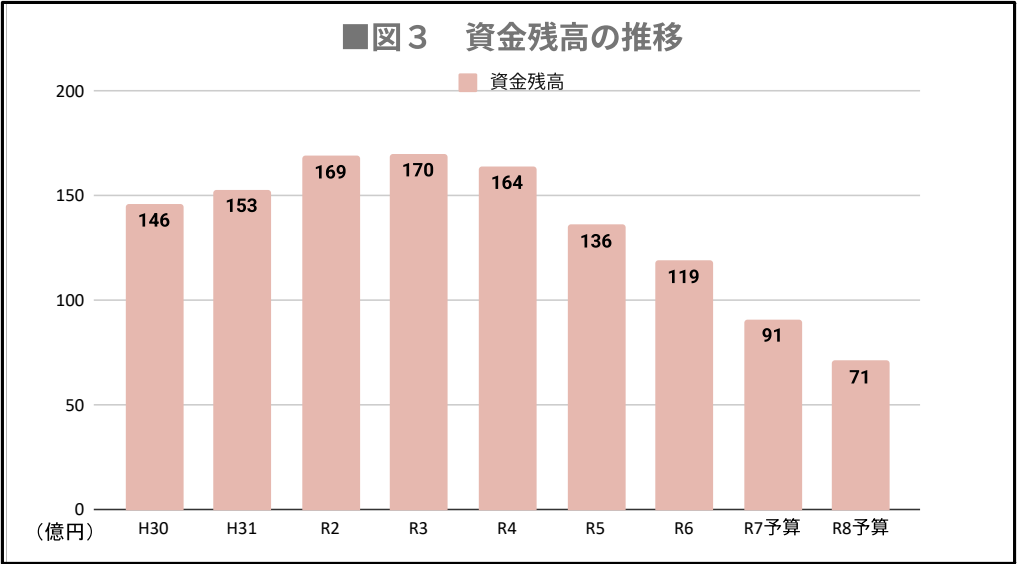
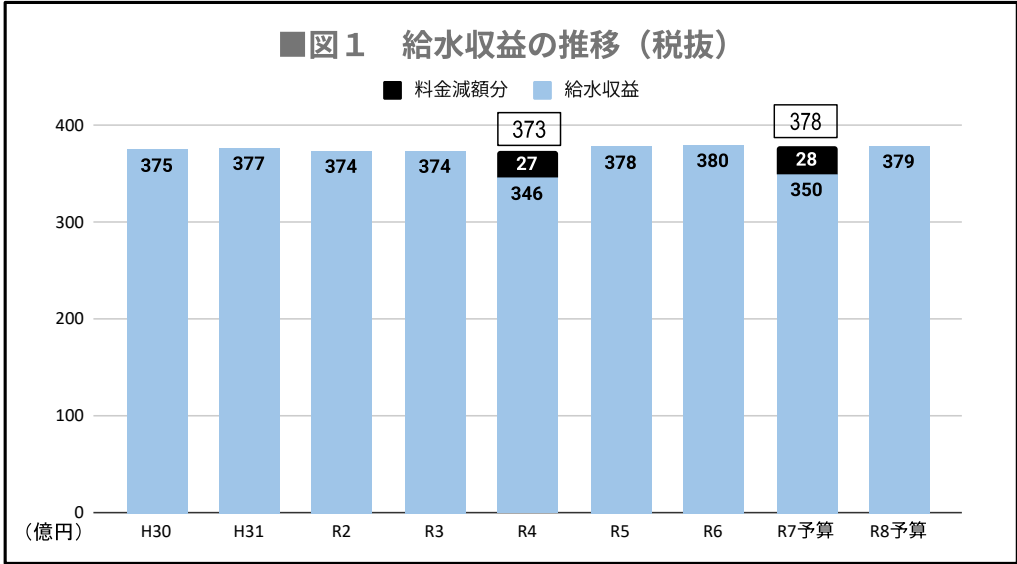
注 2 令和 8 年度予算に建設改良積立金として予定処分する額は1,510,000千円である。

注 3 令和 8 年度予算の過年度分内部留保資金は、令和 6 年度から令和 7 年度への予算繰越（1,040,653千円）の影響を含む額である。

2 業務量

区 分		令和 8 年 度	令和 7 年 度	予 算 比 較	
		予 算	予 算	増 減	増 減 率 (%)
		A	B	C (A-B)	C/B
人 口 等	給水区域内人口 (人)	1,960,884	1,960,984	△ 100	△ 0.0
	給水人口 (人)	1,960,019	1,959,784	235	0.0
	普及率 (%)	99.9	99.9	0.0	-
水 量 等	年間配水量 (m ³)	191,201,000	189,390,000	1,811,000	1.0
	1 日平均配水量 (m ³)	523,800	518,900	4,900	0.9
	年間有収水量 (m ³)	178,870,000	177,176,000	1,694,000	1.0
	有収率 (%)	93.6	93.6	0.0	-
年度末給水件数 (件)		934,947	930,614	4,333	0.5
年度末配水管布設延長 (m)		5,967,808	5,968,313	△505	△ 0.0
配水管の耐震管率 (%)		37.7	36.6	1.1	-

3 財政状況の推移



※図1の給水収益は、家事用基本料金2か月分減額後の金額であり、減額規模（R4年度▲27億円、R7年度▲28億円）は黒枠で表示している。
※図2の建設改良費については、国の令和7年度補正予算等の動きに合わせ、令和8年1定において38億円の補正予算を計上し、これを令和8年度へ繰り越す計画である。

4 主要事業

【目標1 安全で良質な水の確保】 ○ 豊平川水道水源水質保全事業 204百万円 …場内整備工事 160百万円 ほか 【総事業費:290億円】	【目標3 利用者に満足される水道】 ① スマートメーターの調査研究 48百万円 …スマートメーターの調査業務及び実証実験(R5～開始) ② 広報・広聴活動 33百万円 …水道事業PR広報 ③ 水道記念館を活用した水道学習の推進 155百万円 …水道記念館の運営
【目標2 安定した水の供給】 ① 配水管の整備 14,885百万円 …配水本管や医療機関(約150施設)等へ向かう配水支管の耐震化など(約57km) ② 白川浄水場改修事業 6,351百万円 …白川第4浄水棟新設工事 2,333百万円(完成予定年度:R12)ほか 【総事業費:560億円】 ③ 白川第1送水管更新事業 940百万円 …白川第1送水管更新工事(約1km) 940百万円 【総事業費:180億円】 ④ 設備更新 1,232百万円 …白川第1浄水棟1～6号沈でん池低圧配電設備更新工事 363百万円(完成予定年度:R8) ほか ⑤ 配水施設耐震化等整備事業 477百万円 …西岡配水池耐震改修工事 328百万円(完成予定年度:R9) ほか	【目標4 健全経営のもと自律した水道】 ① 人材の育成と技術継承 18百万円 …局内研修、外部研修、資格取得 ② 再生可能エネルギーの導入拡大 141百万円 …バイパス水力発電設備新設工事 126百万円(完成予定年度:R8)ほか 【総事業費:726百万円】

令和8年度下水道事業会計 予算の概要

1	予 算 総 括 表	・ ・ ・ ・ ・	1 頁
2	財 政 状 況 の 推 移	・ ・ ・ ・ ・	2 頁
3	業 務 量	・ ・ ・ ・ ・	3 頁
4	主 要 事 業	・ ・ ・ ・ ・	4 頁

1 予算総括表

(単位：千円)

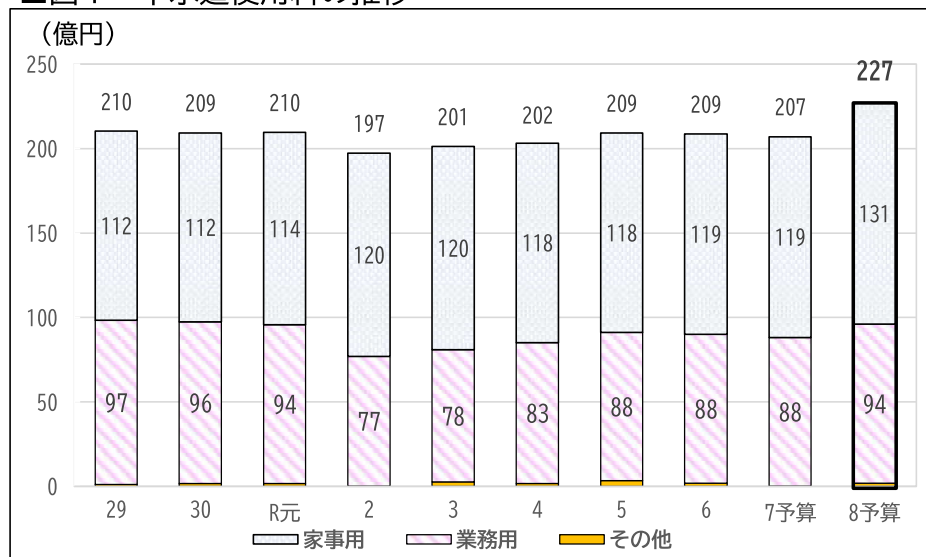
区 分			項 目	収 入			項 目	支 出			収	支	差 引
				8年度予算 A	7年度予算 B	差引 A-B		8年度予算 C	7年度予算 D	差引 C-D			
当 年 度 分 入 収 入 及 び 支 出	収 益 的 収 入 及 び 支 出	経 常 収 入	営 業 収 益	41,906,942	40,588,060	1,318,882	営 業 費 用	48,559,101	49,484,138	△ 925,037			
			下 水 道 料	22,718,133	20,705,507	2,012,626	維 持 管 理 費	22,336,663	22,941,009	△ 604,346			
			一 般 会 計 負 担 金 等	18,850,538	19,278,584	△ 428,046	人 件 費	3,031,174	3,097,735	△ 66,561			
			そ の 他	338,271	603,969	△ 265,698	経 費	19,305,489	19,843,274	△ 537,785			
							減価償却費等	26,222,438	26,543,129	△ 320,691			
		支	営 業 外 収 益	12,214,186	13,108,579	△ 894,393	営 業 外 費 用	3,246,206	2,724,020	522,186			
							予 備 費	30,000	30,000	0			
			小 計	54,121,128	53,696,639	424,489	小 計	51,835,307	52,238,158	△ 402,851			
		出	特 別 利 益	1,872	1,361	511	特 別 損 失	91,693	92,842	△ 1,149	△ 89,821	△ 91,481	1,660
			計	① 54,123,000	53,698,000	425,000	計	② 51,927,000	52,331,000	△ 404,000	③ 2,196,000	1,367,000	829,000
及 び 支 出	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	24,206,000	35,058,500	△ 10,852,500	建 設 改 良 費	34,213,000	47,264,679	△ 13,051,679	税 抜 後 ↓ (純利益) 8,220	税 抜 後 ↓ (純損失) △1,145,987	税 抜 後 ↓ 差 引 1,154,207	
		国 庫 補 助 金	1,287,400	4,339,000	△ 3,051,600	償 還 金	16,407,000	18,285,000	△ 1,878,000				
		国 庫 交 付 金	3,353,131	3,919,407	△ 566,276	返 還 金	70,000	70,000	0				
		一 般 会 計 補 助 金	23,439	0	23,439	予 備 費	20,000	20,000	0				
		負 担 金	4,295,030	3,141,008	1,154,022								
		計	⑤ 33,165,000	46,457,915	△ 13,292,915	計	④ 50,710,000	65,639,679	△ 14,929,679	⑥ △ 17,545,000	△ 19,181,764	1,636,764	
		当 年 度 分 損益勘定留保資金等	15,387,660	16,349,204	△ 961,544					15,387,660	16,349,204	△ 961,544	
合 計			102,675,660	116,505,119	△ 13,829,459	合 計	102,637,000	117,970,679	△ 15,333,679	38,660	△ 1,465,560	1,504,220	
過年度分内部留保資金			4,096,556	5,562,116	△ 1,465,560					4,096,556	5,562,116	△ 1,465,560	
総 計			106,772,216	122,067,235	△ 15,295,019	総 計	102,637,000	117,970,679	△ 15,333,679	⑦ 4,135,216	4,096,556	38,660	

(注1) 7年度予算は、6年度からの繰越及び補正を含む最終予算である。

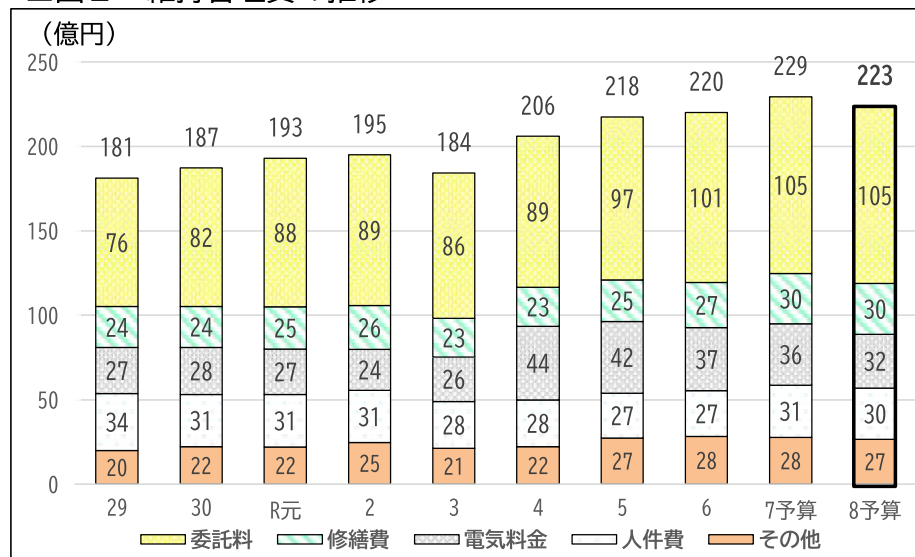
(注2) 過年度分内部留保資金について、7年度予算は6年度決算置換後の数値である。

2 財政状況の推移

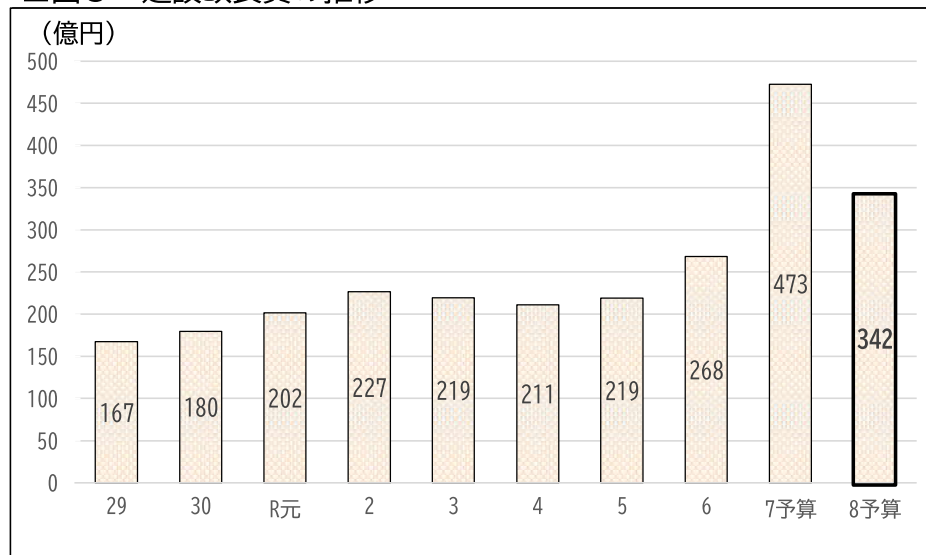
■図1 下水道使用料の推移



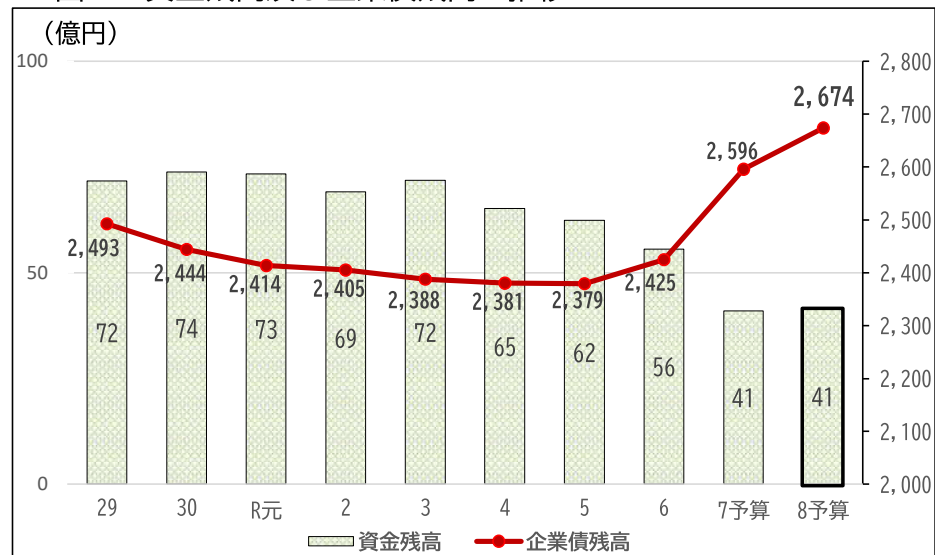
■図2 維持管理費の推移



■図3 建設改良費の推移



■図4 資金残高及び企業債残高の推移



3 業務量

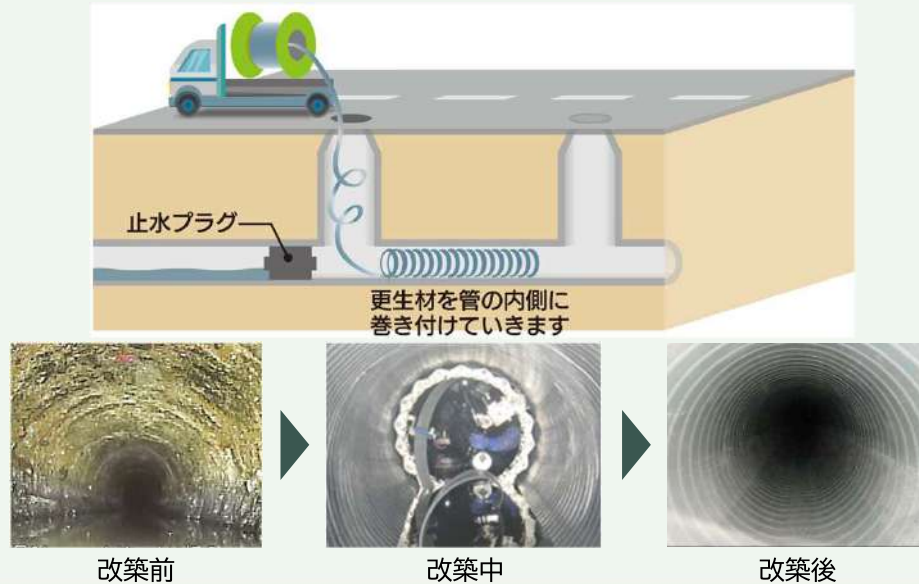
区 分				令 和 8 年 度	令 和 7 年 度	予 算 比 較	
				予 算 A	予 算 B	増 減 C (A-B)	増 減 率 (%) C/B
総 人 口		千人	ア	1,966.4	1,966.6	△ 0.2	△ 0.0
下水道普及状況	管 路 総 延 長	km		8,343.3	8,340.8	2.5	0.0
	処 理 面 積	ha		24,846	24,844	2	0.0
	処 理 人 口	千人	イ	1,962.9	1,963.1	△ 0.2	△ 0.0
	総 人 口 普 及 率	%	イ/ア	99.8	99.8	0.0	0.0
水洗化普及状況	水 洗 化 可 能 人 口	千人	ウ	1,962.9	1,963.1	△ 0.2	△ 0.0
	水 洗 化 人 口	千人	エ	1,961.9	1,962.1	△ 0.2	△ 0.0
	水 洗 化 普 及 率	%	エ/ウ	99.9	99.9	△ 0.0	△ 0.0
処理水量等	年 間 処 理 水 量	千m³		330,836	323,266	7,570	2.3
	晴天時最大処理水量	千m³/日		955.7	905.9	49.8	5.5
	処 理 能 力	千m³/日		1,147.0	1,147.0	0.0	0.0
	年 間 処 理 固 形 物 量	t		52,630	52,450	180	0.3
	年 間 有 収 水 量	千m³		200,947	197,194	3,753	1.9

4 主要事業

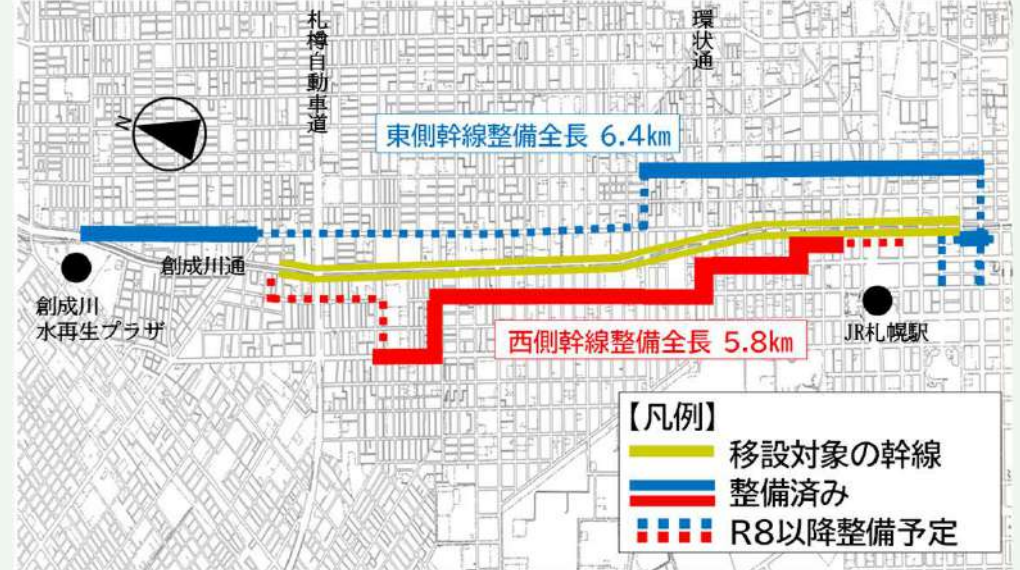
施設の維持管理に関する業務 22,337百万円	施設の建設に関する事業 34,213百万円
① 管路施設の維持管理 5,093百万円 (22.8%) 〔施設数〕 管理延長 8,337km マンホール数 217,854か所 公共ます 452,465か所 〔主な費用内訳〕 (委託料・修繕費) (4,294百万円) 管路調査 (TVカメラ) 221km 管路点検 (目視) 1,664km 管路修繕 2,350か所 ② 処理施設の維持管理 14,051百万円 (62.9%) 〔施設数〕 水再生プラザ 10か所 ポンプ場 16か所 その他施設 7か所 〔主な費用内訳〕 (委託料) 運転管理・汚泥処理等 (6,334百万円) (修繕費) 修繕工事等 (2,512百万円) (動力費) 電気料金・燃料代金 (3,075百万円) ③ その他の経費 3,193百万円 (14.3%) 〔主な費用内訳〕 (負担金) 下水道使用料徴収業務負担金 (1,985百万円) その他、管理運営経費等	対象施設 管路整備延長：31.3Km、ポンプ場：8か所、処理場等：13か所 ① 下水道施設の改築・再構築 31,055百万円 (90.8%) 〔管路施設〕 老朽管改築等 24.2km 他事業関連(都心アクセス道路事業に伴う幹線の移設等) 3.4km 新規整備 2.3km 公共ます設置業務 2,620か所 〔処理施設〕 東部スラッジセンター等の設備改築 ② 災害への対応力強化 2,344百万円 (6.9%) 【浸水対策】 〔管路施設〕 雨水拡充管の整備(山の手、新道東、中の島地区) 1.3km 浸水に弱い地区への対策(北26条ほか) 0.1km 【地震対策】 〔管路施設〕 管路の耐震診断 17.5km マンホールトイレの整備(白石区、手稲区体育館) 〔処理施設〕 野津幌川雨水ポンプ場等の耐震設計 ③ 脱炭素社会・循環型社会実現に向けた取組強化 733百万円 (2.1%) 〔処理施設〕 東部水再生プラザ 東部融雪槽の新設 ④ その他 81百万円 (0.2%) 〔主な費用内訳〕 基幹業務システム再構築に向けた検討業務等

①下水道施設の改築・再構築

●老朽管改築(管路更生工法の例)



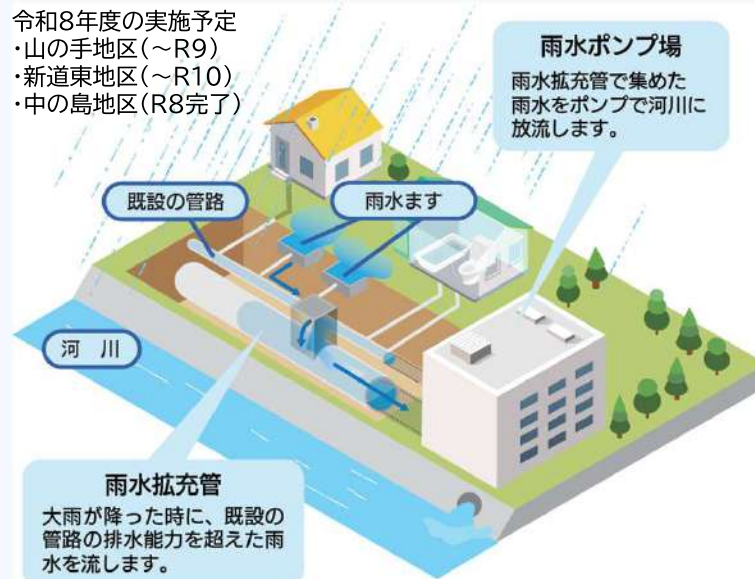
●都心アクセス道路事業に伴う幹線の移設



②災害への対応力強化

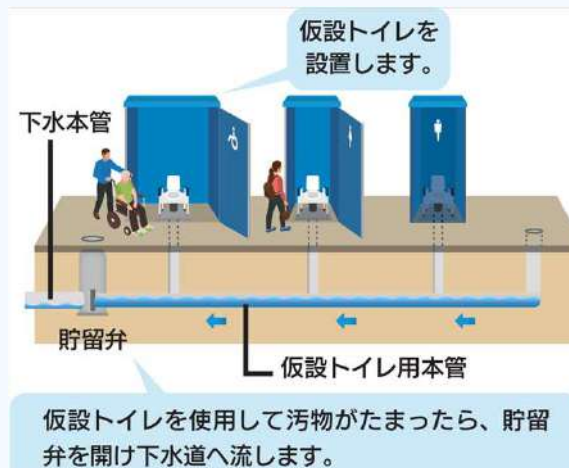
●雨水拡充管の整備

令和8年度の実施予定
 ・山の手地区(～R9)
 ・新道東地区(～R10)
 ・中の島地区(R8完了)



●マンホールトイレの整備

令和8年度の実施予定
 ・白石区体育館
 ・手稲区体育館



③脱炭素社会・循環型社会実現に向けた取組強化

●東部融雪槽の新設



令和 8 年度病院事業会計 予算の概要

1	総括表	・ ・ ・ ・ ・	1頁
2	業務量	・ ・ ・ ・ ・	2頁
3	主要事業	・ ・ ・ ・ ・	3頁
4	直近 5 年間の傾向	・ ・ ・ ・ ・	4頁

1 総 括 表

(単位：千円)

区 分			収 入				支 出				収 支 差 引					
			項 目	8年度予算 A	7年度予算 B	差引増減 A－B	項 目	8年度予算 C	7年度予算 D	差引増減 C－D	8年度予算 A－C＝E	7年度予算 B－D＝F	差 引 E－F			
当年度分収入及び支出	収益的収入及び支出	経常収支	医業収益	診 療 収 益	26,159,473	24,273,177	1,886,296	医業費用	給 与 費	13,637,590	13,596,710	40,880				
				入院収益	19,047,473	17,287,181	1,760,292		材 料 費	9,334,000	8,695,911	638,089				
				外来収益	7,112,000	6,985,996	126,004			経費 ほか	6,536,295	6,437,075				99,220
			一般会計繰入金	240,956	243,848	▲ 2,892	医業外費用	359,115	310,304		48,811					
			その他医業収益	244,260	229,349	14,911		予 備 費	10,000	10,000	0					
		医業外収益	一般会計繰入金	1,136,691	1,176,328	▲ 39,637										
			その他医業外収益	1,315,620	1,307,298	8,322										
		計			①29,097,000	27,230,000	1,867,000	計	②29,877,000	29,050,000	827,000	③▲ 780,000				▲ 1,820,000
	資本的収入及び支出	企 業 債			786,000	1,047,000	▲ 261,000	建設改良費	病 院 整 備 費	339,000	649,115	▲ 310,115				
		出 資 金			43,167	83,175	▲ 40,008		医療器械購入費等	539,000	564,950	▲ 25,950				
		負 担 金			556,833	713,825	▲ 156,992	企業債償還金			1,106,000	1,357,000				▲ 251,000
								予 備 費			1,000	1,000				0
		計			⑤ 1,386,000	1,844,000	▲ 458,000	計	④ 1,985,000	2,572,065	▲ 587,065	⑥▲ 599,000				▲ 728,065
	当年度分損益勘定留保資金等				927,272	999,917	▲ 72,645						927,272	999,917	▲ 72,645	
	合 計				31,410,272	30,073,917	1,336,355	合 計			31,862,000	31,622,065	239,935	⑦▲ 451,728	▲ 1,548,148	1,096,420
	過年度分内部留保資金				190,038	▲ 1,261,814	1,451,852							190,038	▲ 1,261,814	1,451,852
	総 計				31,600,310	28,812,103	2,788,207	総 計			31,862,000	31,622,065	239,935	⑧▲ 261,690	▲ 2,809,962	2,548,272
	一般会計からの長期借入金				0	3,000,000	▲ 3,000,000	長期借入金償還金			0	0	0	0	3,000,000	▲ 3,000,000
	再 計													▲ 261,690	190,038	▲ 451,728

※ 7年度予算は補正後の金額を掲載

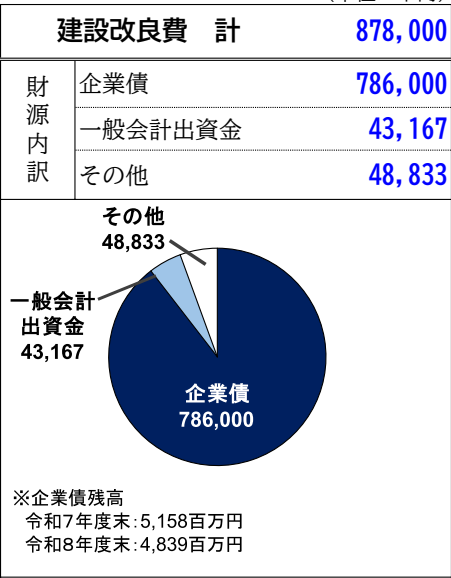
2 業 務 量

区 分		8 年 度 予 算 A	7 年 度	差 引 増 減	
			予 算 B	予 算 対 比 (A-B)	増減率 (%) (A-B) / B
入 院	病 床 数(床)	672	672	0	0
	病床稼働率(%)	85.0	82.0	3.0	-
	延患者数 (人)	208,500	201,130	7,370	3.7
	1 日平均患者数(人)	571	551	20	3.6
	新入院患者数(人)	18,286	17,017	1,269	7.5
	平均在院日数(日)	10.4	10.9	▲ 0.5	▲ 4.6
外 来	延患者数 (人)	255,000	258,000	▲ 3,000	▲ 1.2
	1 日平均患者数(人)	1,058	1,066	▲ 8	▲ 0.8

3 主要事業

建設改良費 内訳							
病院整備費		8年度予算	339,000 千円	医療器械購入費等		8年度予算	539,000 千円
		7年度補正後予算比	▲ 310,115 千円			7年度補正後予算比	▲ 25,950 千円
・ 照明設備 L E D 化工事		124,311 千円		・ 手術用顕微鏡更新		83,222 千円	
蛍光ランプの製造及び輸入が禁止（令和 9 年12月末）となることに対応するための照明設備の L E D 化				脳神経外科、形成外科及び耳鼻咽喉科で使用機器更新により、複雑な手術に対応可能となる。			
・ 外壁改修工事		75,818 千円		・ 手術用内視鏡更新		68,071 千円	
調査によりタイル剥離等が確認された外壁面の改修				主に脳神経外科、呼吸器外科、耳鼻科、泌尿器科、産婦人科及び外科で使用現在 5 台保有するうち、R 7 年度末に保守が終了する 2 台を更新			
・ 歩行用キャノピー（屋根）改良工事		12,836 千円		・ 白内障、硝子体手術装置更新		57,311 千円	
調査により防水層に劣化が見られるキャノピー（屋根）の改良工事				網膜硝子体手術に必要な機器の更新（札幌医療圏で当院のみ糖尿病等合併症患者の網膜硝子体手術に対応している）			
・ その他整備更新工事		126,035 千円		・ その他医療機器等		330,396 千円	

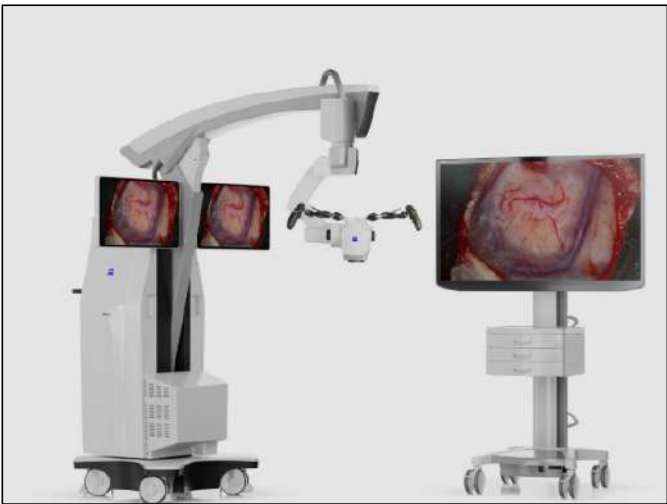
（単位：千円）



歩行用キャノピー（屋根）

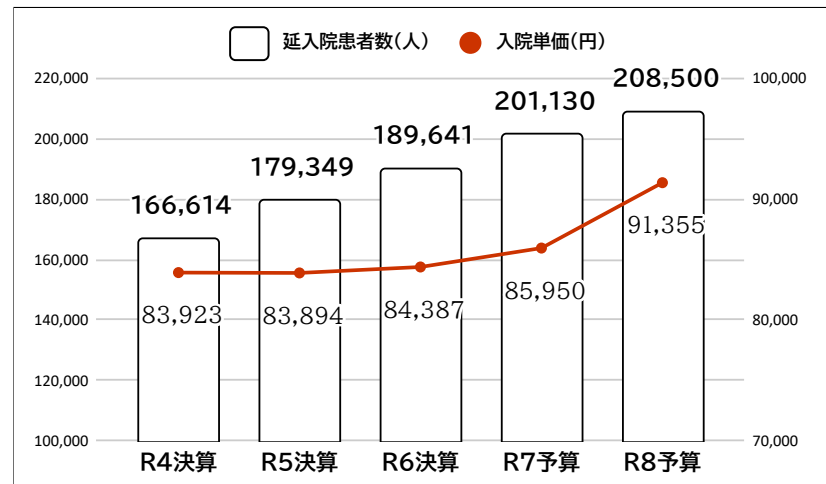


手術用顕微鏡

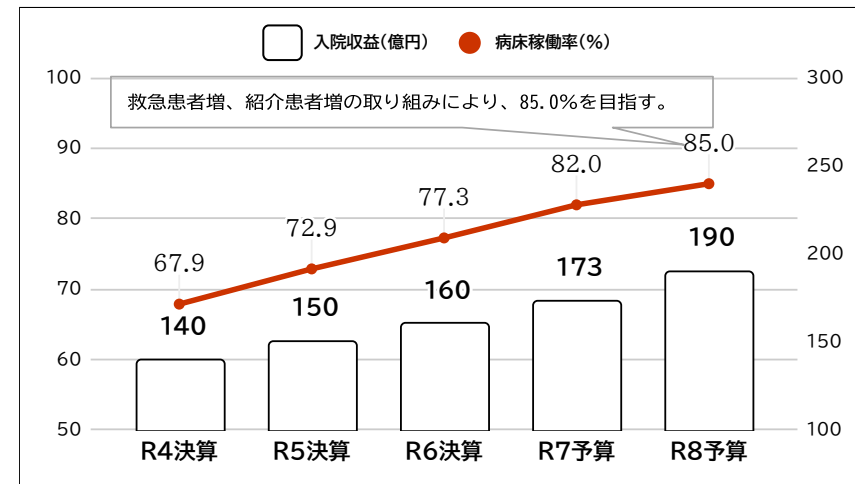


4 直近5年間の傾向

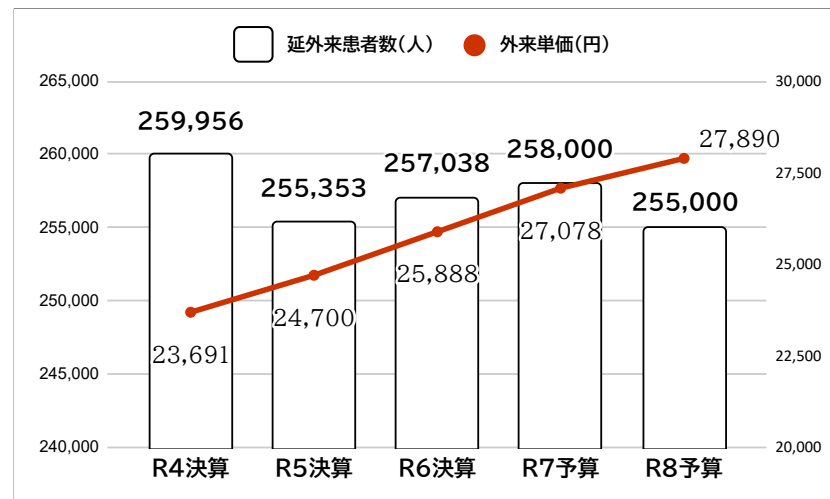
■ 延入院患者数・入院単価の推移



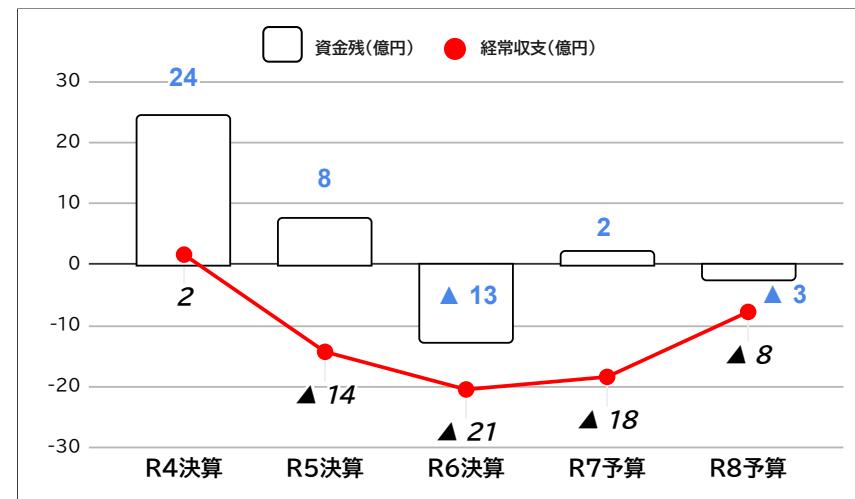
■ 病床稼働率と1日当たりの入院収益の推移



■ 延外来患者数・外来単価の推移



■ 経常収支・資金残の推移



※7年度予算は補正後の金額を掲載

札幌市営企業調査審議会 部会所属案

(五十音順、敬称略)

氏 名	しめい	交通部会	水道部会	下水道部会	病院部会	備 考
朝野 由紀	あさの ゆき			○		札幌市PTA協議会 副会長
阿部 勝義	あべ まさのり	○	○			北海道ビルディング協会 常務理事
石嶋 芳臣	いしじま よしおみ	○	○			北海学園大学経営学部 教授
石田 眞二	いしだ しんじ	○				北海道科学大学工学部 教授（副学長）
祖母井 里重子	うばがい りえこ	○			○	札幌弁護士会
大金 弘武	おおがね ひろたけ	○		○		札幌商工会議所政策委員会 副委員長
大橋 俊忠	おおはし としただ		○		○	北海道経済連合会 理事事務局長
岡田 美弥子	おかだ みやこ			○	○	北海道大学大学院経済学研究院 教授
押木 守	おしき まもる			○		北海道大学大学院工学研究院 准教授
加藤 純広	かとう すみひろ				○	北海道医療新聞社編集局企画部 部長
木村 敏康	きむら としやす		○	○		北海道中小企業団体中央会 専務理事
駒ヶ嶺 智史	こまがみね さとし	○			○	公募委員
沢田 崇	さわだ たかし	○		○		公募委員
白崎 伸隆	しらさき のぶたか		○			北海道大学大学院工学研究院 准教授
高橋 雅之	たかはし まさゆき	○		○		公募委員
竹田 和則	たけだ かずのり		○		○	公募委員
立花 八寿子	たちばな やすこ				○	北海道看護協会 常務理事
峪 龍一	たに りゅういち	○				北海道大学大学院工学研究院 准教授
常谷 智晴	つねや ともはる		○	○		公募委員
寺林 江津	てらばやし えつ		○		○	公募委員
西尾 長孝	にしお ながたか		○	○		札幌青年会議所 専務理事
野中 雅	のなか ただし				○	札幌市医師会 副会長
林 真樹	はやし まさき	○	○			北海道新聞社 企画室次長
星原 智江	ほしはら ともえ		○		○	札幌消費者協会 理事
松村 史穂	まつむら しほ			○		北海道大学大学院経済学研究院 教授
山口 裕一	やまぐち ゆういち	○		○		連合北海道札幌地区連合会 事務局長
山田 陽	やまだ あきら				○	医療法人溪仁会 札幌西円山病院 病院長
山田 俊郎	やまだ としろう		○			北海学園大学工学部 教授
		以上11名	以上12名	以上11名	以上11名	